

地域別アクションプログラム
(東近江土木事務所)

第2回 地域ワーキング

説明資料



令和4年10月4日(火)

滋賀県東近江土木事務所

説明内容

1. アクションプログラムについて

- ・アクションプログラム策定について

2. 地域ワーキングについて

- ・第2回地域ワーキングの内容
- ・地域ワーキングの役割

3. 客観的評価マニュアルについて

- ・客観的評価マニュアルの概要

4. 「地域の声」について

- ・「地域の声」のテーマの選定について
- ・「地域の声」のテーマ(案)

5. 「地域の重点項目」について

- ・「地域の声」テーマと「地域重点項目」
- ・「地域の重点項目」に係る地域の状況

6. まとめ

- ・第2回地域ワーキングのまとめ

7. 次回の地域ワーキング

- ・第3回地域ワーキングの予定

1.1 アクションプログラム策定について

滋賀県道路整備マスタープラン

- 今後20年間の道路整備の基本方針
- 広域道路ネットワーク計画や県内各市町のまちづくりと一体となり、県全体として連携を図った道路整備を進める
- 滋賀県都市計画基本方針に示す「拠点連携型都市構造」の実現に向け、道路整備の視点から目指すべき姿を示す

県内外の拠点間ネットワークの強化

安全で快適に移動や滞在ができる
道路空間の創出

地域ワーキング

- ✓ 地域課題の抽出や、その課題を踏まえた今後の道路整備に向けて、意見を伺う
- ✓ 今後の道路整備についての「**地域の声**」を取りまとめ
- ✓ **客観的評価マニュアル**における地域特性の評価に必要な「**地域の重点項目**」を選定

客観的評価マニュアル

- ✓ 事業目的等の点数化を行い、事業の優先順位を客観的に評価する

取組の柱の実現性

地域計画等との適合状況

地域の重点項目

など

具体化

滋賀県道路整備アクションプログラム

- 今後10年間の道路整備の具体的な道路整備計画
- 「どこに、どんな道路が、いつまでに必要か」を定める

2.1 第2回地域ワーキングの内容

地域ワーキング(WG)	主なWGの内容
第1回地域WG 令和4年7月26日開催	各委員から管内道路の課題等に関する意見をいただく
第2回地域WG 令和4年10月 今回	第1回WGで出た意見をもとに、「地域の声のテーマ(案)」、客観的評価マニュアルの「地域の重点項目(案)」を作成・提示し、各委員から意見をいただく
第3回地域WG 令和4年10~11月予定	「地域の声」や「地域の重点項目」、「定量的指標」等を報告するとともに、アクションプログラムに掲載する代表候補箇所を提示
第4回地域WG 令和4年12月予定	アクションプログラム2023(案)の報告

※「地域の声」：地域ワーキングで伺った意見をもとにまとめる、地域課題やその課題を踏まえた今後の道路整備についての意見。

2.2 地域ワーキングの役割

地域における道路に関する意見聴取



地域の声として整理



地域の重点項目として設定

3.1 客観的評価マニュアルの概要

事業の優先度を客観的に評価するためのマニュアル
～誰が見ても納得できる評価基準～

拠点間ネットワーク整備

(現道拡幅、バイパス整備、交差点改良など)

I.取組の柱の実現

II.その他評価項目

III.費用便益比

IV.地域特性

拠点内道路空間整備

(歩道整備、自転車道整備、沿道環境など)

I.取組の柱の実現

II.その他評価項目

III.地域特性

客観的評価マニュアルによる1次評価

事業の
1次評価

ランク I
(6点以上)

ランク II
(6~3点)

ランク III
(3点未満)

事業の熟度や事業進捗率などを考慮

ランクA【重点化事業】 :原則、10箇年間に重点的に整備する事業

ランクB【推進検討事業】:事業の推進を検討する事業

ランクC【当面保留事業】:現計画のままでは10箇年間に事業化しない事業

3.1.1 客観的評価マニュアルの概要

誰が見ても納得できる評価基準

拠点間ネットワーク整備の評価指標	
評価項目	
I. 取組みの柱の実現 1. つながる・ひろがる	
(1) 産業活動や地域交流を支える道路整備	
①	新広域道路交通計画の位置付け
②	重要物流道路および代替・補完路の整備
③	緊急輸送道路の整備
④	大型車のすれ違い不能の解消が図れる整備
⑤	工区の起終点がともに改良済みの道路の整備
⑥	著しい渋滞を緩和できる整備
⑦	ビワイチおよびビワイチプラスに関連する整備
(2) 拠点間のアクセス性を高める道路整備	
①	鉄道や道路との立体交差化を図る整備
②	生活拠点や主要施設へのアクセス道路の整備
③	防災拠点間を結ぶ道路整備
④	事故危険箇所における整備
(3) 気候変動等へ適応した道路整備	
①	地域にとって唯一の道路の整備
②	事前通行規制区間や防災総点検要対策箇所の改善が図れる整備
③	リダンダンシーを確保する道路整備
II その他の評価項目	
①	地域振興の計画に位置付け
②	高速道路や直轄国道整備に併せた整備
③	市町のまちづくり等と一体となった整備
④	環境負荷を低減する整備
III 費用便益比	
①	走行改善効果の点数化
IV 地域特性	
①	地域の重点項目(4項目以内)

↑

【取組の柱の実現】
マスタープランの
取組の実現度を評価

↓

【その他の評価】

↓

【費用便益比】

↓

【地域特性】

3.1.2 客観的評価マニュアルの概要

誰が見ても納得できる評価基準

拠点内道路空間整備の評価指標	
評価項目	
I. 取組みの柱の実現 3. 快適でセーフティ	
【取組の柱の実現】 マスタープランの 取組の実現度を評価	(1) 人中心の空間創出
	① 歩行者人数(歩道整備の場合)
	歩行者・自転車交通量(自転車歩行者道整備の場合)
	② 自動車交通量
	③ 通学路等の整備
	④ 自転車走行空間の整備
	⑤ 人と車両との事故状況
	⑥ 歩道等の整備状況
	⑦ 前後区間の歩道整備状況
	⑧ 事故危険箇所における整備
	(2) 街並みや沿道環境に調和した道路空間の整備
	① 環境に配慮した整備
	② 道路緑化を図る整備
	③ 観光資源などの有無
	(3) マイカーに頼りすぎないための道路整備
	① バス路線(コミュニティバス、スクールバス等も含む)の整備
② 鉄道駅・主要な公共公益施設の有無	
(4) 誰もが利用しやすく、人に優しい道路整備	
① 高齢者や身体障害者等の移動の円滑化を図る歩道等の整備	
II その他の評価項目	
【その他の評価】	① 歩行者利便増進道路制度の位置付け
	② 快適でにぎわいのある道路空間の整備
	③ 市町のまちづくり等と一体となった整備
III 地域特性	
【地域特性】	① 地域の重点項目(4項目以内)

4.1.1 「地域の声」のテーマの選定について

第1回地域ワーキング、市町意見、県民アンケートの意見を8つのカテゴリに分類

意見が多かった「ネットワーク・アクセス」「渋滞」「歩行者通学路」を「地域の声」のテーマとして設定

■カテゴリ別意見の数

項目	カテゴリ(8)							
	ネットワーク・アクセス	渋滞	歩行者通学路	狭隘	乗換拠点	維持管理	防災	沿道環境
第1回地域ワーキング	10	7	7	4	4	3	1	1
市町意見	15	8	7	5	0	0	4	1
県民アンケート	3	3	3	3	1	0	7	3
計	28	18	17	12	5	3	12	5

「地域の声」のテーマとして設定

4.1.2 「地域の声」のテーマ選定について

地域からの意見

■ ネットワーク・アクセスに係る意見

(ワーキング)

- ・ 国道に通じる道が2本通っているが、近江八幡市内から国道に直接出る道がない。
- ・ 八日市ICに国道8号から大型車で余裕をもって離合できるアクセス道路があればと思う。
- ・ 国道8号は、バイパスに流すことによって交通量を抑えることができれば、信号の待機時間などが緩和される。

(市町意見)

- ・ 周辺市町との交通ネットワーク機能が不足している。
- ・ JRや観光地へのアクセス性が低い。
- ・ 国道にアクセスする重要路線の早期整備が必要。

(アンケート)

- ・ 救急病院や主な福祉施設(保健センターなど)周辺の道路整備

■ 渋滞に係る意見

(ワーキング)

- ・ 鉄道が通っているので、土日は混雑して、細い道の踏切を通過しないといけない。
- ・ 近江八幡市は平日でも国道に向かう道は混雑している。
- ・ 東近江土木管内では、国道8号に向かう道路が渋滞している。

(市町意見)

- ・ 主要道路同士の交差点における慢性的な渋滞発生している。
- ・ 観光者増加に伴う観光地周辺道路の渋滞発生している。
- ・ 2車線以上が確保された道路に交通が集中している。

(アンケート)

- ・ 渋滞を緩和・解消させる道路の整備

■ 歩行者通学路に係る意見

(ワーキング)

- ・ 道路の端にグリーンベルトを整備しているが、とても歩ける幅ではない箇所がある。
- ・ 歩道整備や交差点縁石切下部に対するポラード、車侵入防止策についての要望がある。
- ・ 近江八幡市から湖南市にかけて、歩道の整備ができていない。

(市町意見)

- ・ 幹線道路の渋滞による生活道路や通学路への車両侵入がみられ、住民の安全性が確保されていない。
- ・ 通学路への歩道整備、自転車歩行者道の整備が急務である。
- ・ 通学路および集客施設周辺における連続した歩道等のネットワークが脆弱である。

(アンケート)

- ・ 通学路となっている道路の整備

4.2 「地域の声」のテーマ（案）

東近江 地域別アクションプログラム
「地域の声」のテーマ（案）

1. ネットワーク・アクセス性の向上
2. 交通渋滞の緩和
3. 通学路等の安全性向上

5.1 「地域の声」のテーマと「地域の重点項目」

「地域の声」のテーマ(案)と「地域の重点項目」(案)との対応		
「地域の声」のテーマ(案)	「地域の重点項目」(案)	事業
ネットワーク・アクセス性の向上	ネットワーク・アクセス性を高める道路の整備	拠点間 ネットワーク 整備
交通渋滞の緩和	渋滞を緩和させる道路の整備	
通学路等の安全性向上	通学路等における自歩道の整備	拠点内 道路空間 整備

5.2 「地域の重点項目」に係る地域の状況

重点項目1. ネットワーク・アクセス性を高める道路の整備

(交通量と主要施設の分布、速度状況)

重点項目2. 渋滞を緩和させる道路の整備

(渋滞損失時間)

重点項目3. 通学路等における自歩道の整備

(歩道整備状況、幼稚園等・小学校・中学校の分布)

5.2.1 交通量と主要施設の分布

■24時間全車交通量（H27全国道路・街路交通情勢調査）

・国道8号や国道307号と、国道へと向かう幹線道路の交通量が多い。



■県内 観光入込客数

順位	観光地名	市町名	観光入込客数(人)
1	ラ コリーナ近江八幡	近江八幡市	2,331,300
7	道の駅 あいとうマーガレットステーション	東近江市	645,300
8	道の駅 竜王かがみの里	竜王町	528,100
9	希望が丘文化公園	野洲市、湖南市、竜王町	496,900

出典：H27全国道路・街路交通情勢調査道路種別、交通量は上記に基づく

出典：令和2年滋賀県観光入込客統計調査

5.2.2 速度状況（旅行速度）

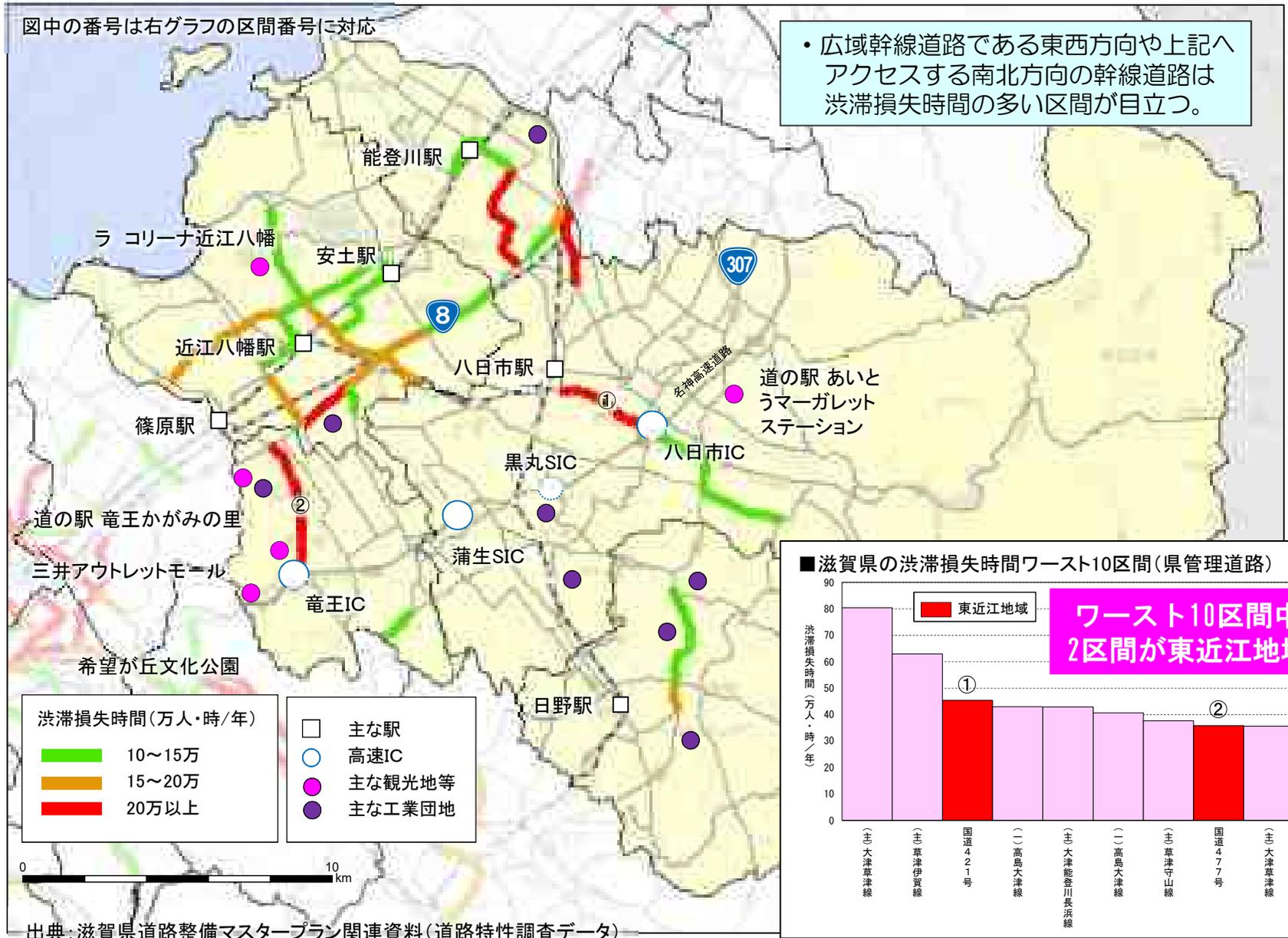
■旅行速度の状況（H27全国道路・街路交通情勢調査）

- ・混雑時における旅行速度は、国道8号及び国道307号へと向かう幹線道路において低速区間が多くみられる。



5.2.3 渋滞状況（渋滞損失時間）

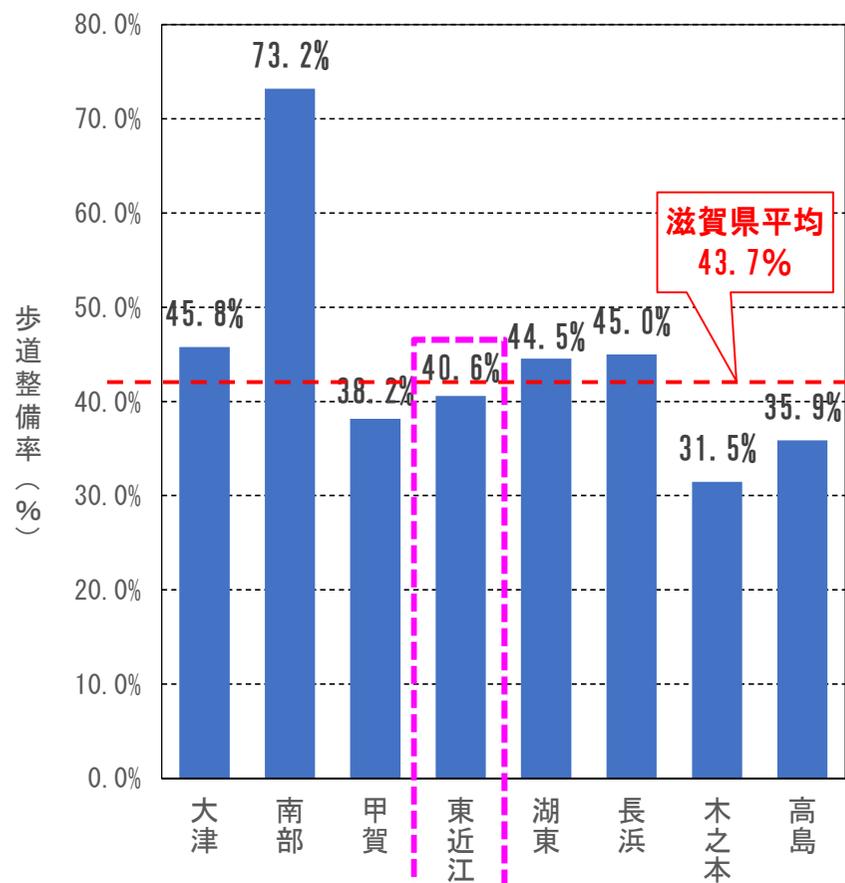
■ 渋滞損失時間の状況 $\text{渋滞損失時間} = (\text{混雑時の旅行時間} - \text{すいている時の旅行時間}) \times \text{交通量} \times \text{乗車人数}$



5.2.4 歩道整備の状況

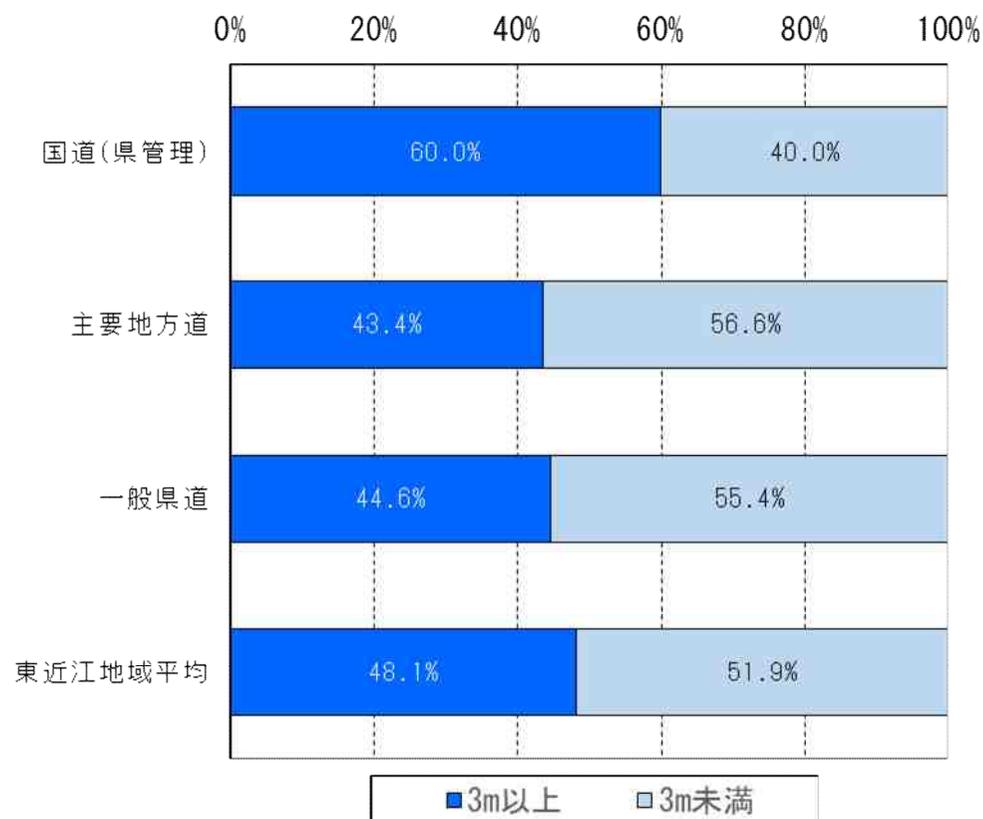
- 東近江地域では、県管理道路の40.6%において歩道が設置済。(県平均を若干下回る)
- 歩道設置済みのうち、幅員3m未満の区間が約52%を占める。

■ 県管理道路における歩道の設置率※1



※1: 県管理道路の実延長に対する歩道等設置道路延長の比率
出典: 滋賀県資料

■ 東近江地域における幅員別歩道構成比(道路種別毎)※2



※2: 歩道等の延長に対する幅員区分別延長の比率

出典: 滋賀県資料

5.2.5 幼稚園等・小中学校の分布

■ 幼稚園等・小中学校の分布

・ 幼稚園等・小中学校の近傍に事故危険箇所がある。



出典：滋賀県道路整備マスタープラン関連資料(道路特性調査データ)

6.1 第2回地域ワーキングのまとめ

○「地域の声」のテーマ(案)と「地域の重点項目」(案)について

「地域の声」(案)と「地域の重点項目」(案)との対応		
「地域の声」のテーマ(案)	「地域の重点項目」(案)	事業
ネットワーク・アクセス性の向上	ネットワーク・アクセス性を高める道路の整備 (国道8号、IC、主要駅等へのアクセス道路整備)	拠点間 ネットワーク 整備
交通渋滞の緩和	渋滞を緩和させる道路の整備	
通学路等の安全性向上	通学路等における自歩道の整備 (幼稚園児、小学生等への対策を最重点とし、中高生への対策を重点とする)	拠点内 道路空間 整備

7.1 第3回地域ワーキングの予定

○日時: 令和4年11月●日(●)

●:00~●:00

○場所: 東近江合同庁舎 3C会議室